

# 県政だより みえ

## 1月号発行のご案内

特集1 少子化対策

# 「希望」が叶う 三重をめざして

テレビのデータ放送でもご覧になれます

重テレビ 7ch + ボタン

「みえ県民意識調査」で理想の子どもの数は25人であるのに対し、実際の子どもの数は16人という結果が  
出ました。また、0歳代未婚者の9割が「いずれは結婚するつもり」と回答する一方で、50歳時の男性の未婚率は1%を超えており、結婚することや子どもを持つことの理想と現実ギャップがあることが分かりました。  
このため県では結婚・妊娠・子育てなどの希望が叶い、すべての子どもが豊かに育つ三重をめざして「三重県子ども・少子化対策計画(仮称)」の策定を進めています。

### 子ども・思春期

子どもの権利を守り  
子どもの育ちを支えています

<主な取り組み>

- ライフプラン教育の推進
- 子どもの貧困対策
- 児童虐待の防止
- 社会的養護の推進

### 若者/結婚

安定した就労を支援し  
出逢いや結婚を希望する若者を応援します

<主な取り組み>

- 若者の雇用対策
- 出逢いの支援

### 妊娠・出産

安心して妊娠・出産ができる  
環境づくりを進めます

<主な取り組み>

- 妊産婦 乳幼児ケア 充実
- 不妊に悩む家族への支援
- 周産期医療体制の充実

### 働き方

ワーク・ライフ・バランスをはじめ  
子育てに優しい職場環境づくりを進めます

<主な取り組み>

- 子育て期女性の就労支援
- 企業による子育ての両立に向けた取り組みへの支援

ライフステージに合わせた  
切れ目のない支援を  
行っています

### 子育て

地域で安心して子育て  
できるように支援します

<主な取り組み>

- 保育 放課後児童施策の推進
- 男性の育児参画の推進
- 発達支援が必要な子どもへの対応

### 画推進の原則

- 子どもの最善の利益を尊重します  
子どもの力を信じます
- 家族形成は当事者の判断を最優先します  
個人の考え方や価値観を大切にします
- 人や企業、地域社 意識を変えていきます  
仕事と子育ての両方を応援します
- 家族の特性に応じてきめ細かに支援します  
すべての子どもが安心して暮らそう地域社会を支えます
- 子どもの育ちと  
子育てを地域社 支えていきます  
「社会の宝」「私たち未来」である子どもたちをみんなで育みます

### 第10回「ファザー・オブ・ザ・イヤー」受賞者決定!

子どもの成長を考えた人なりの方法、子育てをする男性の日常、育児の内容や子どもへの関わり方、集し「スキナ育児している」とより多くの共感を得られた方々を表しました。

**津市 伊藤 生 さん**  
かやう 気張ず にか いも やおしいの を 作 など が喜 こと 自分 が し で や ています

**川越町 男澤 忠宣 さん**  
家族 誰か 日か るこ を 目 が や て い だけ す 休を と た男性 すご と ねな 世の中 な ほし です

**津市 坂井 勇紀 さん 勇斗 さん 親子**  
父 勇紀 さん「斗は キラ男」  
息子 勇斗 さん「自分の だか 面倒 見る は普通 こと 手 伝 とは思 て い いし やる が ありま す」

審査委員 (高濱 正伸 さん) コメント  
お父 さんが 懸命子 もと遊 でき て いるこ とが お母 さんの安 につ がりま す 今回 事例集を 三重県 で全国 発信 て ほしい です



## 第20回 重フィルハーモニー交響楽団に突撃! 音楽で人々に喜びと感動を!

### 創立から続く地域に密着した活動

昨年 3回 重県大賞を受賞し、3月には県総合文化センター開館2周年記念イベントのフィナーレとしてモーツァルトのオペラ「魔笛」を演奏する「重フィルハーモニー交響楽団」。

昭和46年創立されたさまざまな職業・年齢の皆さんが集り、自主運営による定期演奏会や年末の九割サトナを行ってらっしゃいます。また音楽を気軽に楽しんでもらおうと0歳児から入場できる演奏会を開催するなど、地域に密着した活動で重文の発展に貢献し、地域文化功労者、文部科学大臣表彰も受賞されています。

3月の演奏に向けて、昨7月から練習を重ね、その日は指揮者である星出さんを迎え、初めての練習日、その休時間にお話をしました。

### 三重フィルは団員たちの人生そのもの

「練習時のやりくりが大変ですが、有名な指揮者先生や演奏者のさんと一緒に練習するのは、フィルの歴史とともに自分自身の人生でもあるのですね」といって、荒木弓佳さんは指揮者の音楽性団に伝えるコンサートホール、総合文化センターが開館した時に重フィル交響楽団の期として立ち上げた経験があり、0周年記念にける思いは人一倍、自分を育ててくれた感謝の気持ちを込めて演奏したと抱負を語っていました。

次にお話を伺った別所裕さんは、練習計画を立てたり会場を保ったりする進行マネージャー役インスパイア「演奏を通して私たちが伝えたいものがあてそれに、お客様からわかってもらえるんです。毎回それはうのですが、舞台上お様と一緒に空間を共有できた感じが、とても嬉しい」と別所さん。

「演奏する者も、指揮者も、ともに期会の動に出会えるのが、フィルの醍醐味なのだと思います」といって、別所さん。

### 「文化のまち三重」と「わたしのまち」

「団の皆さんにお話を伺っていると、協力してのものを作っていくへのびが伝わってきます。今回の演奏会でも、それをとめていのが指揮者の出陣です。世界各国のオーケストラ、指導されている星出さんに、重フィルや重文について伺いました。

「県民性なんでしょうか、ちょっと無理かなと、でも死に努力し、応えようとするその熱心が素晴らしいです。アマチュアでは1を争う楽団と僕は思っています。音を心から楽しんでいるし、指揮をしている私も非常に楽しいです」と星出さん。それは嬉しいお言葉です。そして「熱心なタツ

フにえられていて、総合文化センターから文化どんどんが、うな感じが、素晴らしい。素晴らしい音楽家たくさん出ます。文化のまちと、われようになんじやな、でしょう」とも。

県総合文化センターのそばには、合博物館MeMuや県立美術館があり、それら文化拠点を皆さんに大に活用していただき、文化がさびに発展していく、頑張りたい、強く感じました。

### 多様性のシンフォニー

オーストリアはさまざまな楽を多くの人演奏する、ですから、多様性を認め合ながら、つ

